



皆さん、エコって言葉をどこかで聞いたことがありますよね？  
最近、私たちの身の周りにも増えてきました。  
エコバックやエコマグカップ…… etc

皆さんの想像するエコってどんなことですか？  
「地球を守る事。それは大切なことなんだろうけど、面倒くさい。」  
「自分が意識して何かしたところで、ほとんど何も変わらない。」  
そんなことを思っていないですか？

だけど、本当にそうなのでしょうか？  
もう一度考えてみてください。

「エコってなんだろう？」

もし、**山**が無くなれば、あの山からの**美しい眺め**はもう見られません。

もし、**森**が無くなれば、少しの雨で土砂が崩れ、**帰る家**が無くなるかもしれません。

もし、**木**が無くなれば、雨風をしのぐ**家**だって作れません。

もし、**植物**が無くなれば、おいしい**野菜**はもう食べられません。

植物を食べて育つ**動物の肉**だって**魚**だってもう食べられません。



地球で生きていけますか？

今から、**3分間**想像してみてください。

もし、**石油**が無くなれば、

今ある**自動車**にはもう乗れません。

**バス**や**船**や**飛行機**に乗って、もう**遠く**には行けません。

身の回りに溢れた**石油製品**だってもう使えません。

肉や魚の入った**プラスチック容器**は無くなります。

さらに、ポリエステル製の**服**はもう着られなくなります。

そんな石油が**あと100年**で無くなると言われています。



あなたは、**緑と資源の無くなった**

# 広島大学環境サークル『エコ・ページ』にまつわるH.U.とは？

環境問題に興味を持つ大学生が集まるサークル『エコ・ページ』  
これまで『エコ・ページ』は広大学生に対しエコを呼びかけてきた。  
その『エコ・ページ』にエコについて尋ねてみた。

ー 『エコ・ページ』ってどんなサークル？

えーじ 『エコ・ページ』は環境問題についてみんなで考えるサークルです。「あしもとから始めるエコ」という理念で活動していて、本当に身近なところから取り組んでいます。普段は、誰かが興味を持った事に対して、自分達にできる事は何かを考えて実践しています。

生協の環境問題会議というのに参加させて頂いて、日々の生活している中で気になっている事を提案させて頂いてもらっています。例えば、生協で不要なレジ袋を減らすためのアイデアや、夜間の自動販売機の節電など提案をしてきました。

ふみ 他にも、U E n e t (※1)に参加していて、今年は八月八日に広島市内で行われた『環境の日』(※2)というイベントに参加しました。今まで広大内にとどまっていた活動が、地域や県にも広まっています。

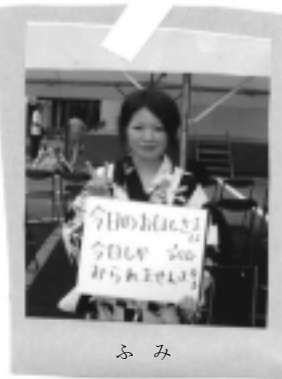
ー 一人でしている身近なエコ

もえこ 買い物をするときにマイバックを持って行って、ついでにポイントを溜めたりしています。それから、野菜を調理する時は茹でずに電子レンジを使ったり、洗い物をする時にはいらぬ紙で汚れを拭いてから洗ったりしています。私の家の近くには野菜の直売所があって、地域で採れた野菜を売っているんですよ。地産地消だから、輸送にかかるCO2の排出量も減らし、と思って食べていたら、新鮮でおいしいし、安いし、だいぶ食費が浮いて助かっています。

えーじ 僕は一人サマータイムをしています(笑)。早寝早起きして、日の明るさを大事にしています。朝ごはんがおいしいし電気代が安くて一石二鳥です。電気代は月千円いかないくらいです。

Q. あなたにとって

エコってな〜？



ふみ



きうい えーじ



しーも

ー エコに興味を持ったきっかけ  
もえこ 私は、元々あまり環境には興味はなかったんですけど、中学生の時にドラマ『漂流教室』を見て、あんなにはなりたくないなって思っただけ。それからですね。

かめ 人間の行動によって動物たちが絶滅の危機に瀕している事を知り、守ってあげたいなと思ったからです。今の自分に大したことはできないけど、何が出来るんだろうと考えたら、節約とかそういう簡単なことが今の自分にできることだなと思って。それから、エコの活動に興味を持ちました。

ふみ 私が興味を持ったきっかけは、小学校の頃に、地元でネイチャーサイエンスキャンプっていう大学生が中心になって行ってくれた活動に参加したことです。自然の中の紙すき体験とか、木を使って何か作るだとか、星を見えるだとかした時に、地球ってすごいなって思いました。それから成長して、なんでこんなにゴミが出るんだろうって考えはじめ、自分が生きていく中でゴミを出すのがすごくいやだなと思う事がエコへの関心につながっていったのかなと思います。

ゆうみん 高校生の三年の初めに、異常気象を身をもって感じた事です。今まで台風は九月過ぎると来ていなかったのに、十月になっても来ていたり、夏の気温がすごく高かったり。昔の環境とすっかり変わったなと感じた時に、環境問題に携わってみたいと思いました。

えーじ 新聞記事を見たのがきっかけです。ツバルという国では温暖化の影響で水位が上がって、年々住める範囲が目に見えて少なくなってきたりしています。そのツバルの人たちがどれだけのCO2を出しているのかといえば、ほんのちよつとで、自分たちの生活がその人の命を奪っているのかわかって考えさせられた時に、ハツとしました。

さんさ 僕は昔からエコに興味はありましたが、最近よく言われる『地球を守ろう』とかそういうフレーズはちよつと違うんじゃないかなって思っています。

(※1) 広島県内で環境保全を行う大学生グループのためのネットワーク  
(※2) 環境をテーマに広島市で行われるお祭り。企業や大学が協賛している。



ないかと思うんです。エコはいいんですけど、それをいかにも会社が宣伝文句のように使っているのに違和感があります。今言われている環境っていうのは、僕は多分、人が生きていけるための環境について論じあっているだけで、人のための環境だと思っんですよね。それなのに「地球全部を守ろう」というキャッチフレーズを使っていることにちょっと違和感があります。僕はエコに興味を持って、本当のエコが何なのかを学びたいと思います、この『えこ・ページ』を見つけて参加させていた

ー エコの目標

きうい 僕が思っているエコの究極目標は、原人の時期。あの時期って、人間と自然お互い利害関係がありながら、うまく共生していたと思うんですよ。でも今、他の動物は完全に人間の生活によって害を受けているばかりじゃないですか。だからといって、今から人間が昔の生活に戻るっていうのは絶対無理な話で……。だから、できるだけ人間以外の動物に与える害っていうのを最低限まで抑えることが必要だと思います。僕は、それがエコの究極目標かなと考えています。

ふみ 持続可能な社会って言葉がありますよね。例えば、地球温暖化が解決したらもうエコとなくなっちゃうと思うんです。だけど、それが解決したらおしまいやなくて、何万年後も穏やかな地球を残さないといけないと思うんです。個人的には自分が年をとっても、きれいな星を見られたり、おいしい野菜を食べることができたり、「人も地球もみんな笑顔で。」そんなエコが目標です。

ー これからエコを広めていくために

えーじ 僕は、最終的に、意識してエコをしてもらうことも大事だと思うんですけど、たとえば食堂で一時期トライアルで行った割り箸のリサイクルでは、割り箸を使った人が捨てるか、リサイクルするか、選べるようにしました。その人たちにエコをやらせるんじゃないかって、選択肢を増やすなり、「気づいたらそれがエコだった」みたいな世の中になればいいのかなと思

かめ まず、少しでもエコに関心がある人がエコの大切さに気づ



もえこ



ゆうみん

さんさ



かめ

〈主な活動内容〉

- ・ 浴衣祭り、大学祭では、割り箸リサイクル活動とゴミステーションでの分別呼びかけによる環境啓発活動を行う。
- ・ 4月のリユース市では、「使えるものを再び価値あるものに」をテーマに卒業時に不要になった家具を引き取り新入生への橋渡しを行う。
- ・ UE-netとして各種イベント（環境の日など）に参加する。

〈サークルPR〉

身近なところから楽しく環境問題と向き合ってみませんか？

学部学年を問わず随時新メンバー募集しています♪

↓↓ 詳しくはwebで ↓↓

<http://ecopage.rakurakuhp.net>

いってくれることが必要だと思います。それで、その人が色々な知識をつけて、伝えて、さらに広がっていく。そのために自分たちの活動はあると思うし。俺は今の『えこ・ページ』の活動がエコの輪を広げていると思います。

ー これからの『えこ・ページ』

ふみ まず『えこ・ページ』の理念の「あしもとから」に目を向けると、広大内でもまだまだエコにできる部分は多いと思います。例えば、これから暑くなってきたりエアコンは多いと思いませんし、そのクーラーを我慢してまでエコをしるるとはいけません。私自身もしたくないです。だけど、例えば、授業が終わって誰もいないのにクーラーがつけっぱなしとか、電気つけっぱなしになっていきます。そういった面で、みんなが協力できる仕組みを、私たちが作っていったらいいかなと考えています。



# 広島修道大学環境サークル『がんば』にとつての「エコ」とは？

― エコって一体なに？

こめっち 『がんば』にとつてエコって言うのは、自分から積極的に身近で簡単なことからやっていけばいい事だと思うんです。自分が生活している中からできる事を少しずつ行う事。硬く考えずにできるものなんです。それと、人と地球をつなげていくものとしてもエコを考えています。地域の公民館主催の行事に参加し、地元の方々の交流を通じて地球の環境問題を学んでいく。そういう面もエコであると、がんばは考えています。

― 何のためにエコはするの？

こめっち 一個人の意見としては、人間として生きていく上でぶつかってしまうのが環境だと思うんです。環境って言うとき硬くなるのでエコって言う言葉から入っていく。僕達学生から社会に発信して、身近なところから少しずつ行動していけばいいっていう事を、大人の方々、それに子供達にもそういった事を感じてもらいたいです。皆で楽しみながら環境問題を学んでいってほしいです。そして、自分の身近なところから自然が無くなるのが嫌だなあって思ってくれる人が増えたらいいと思います。

いつけ エコは環境を守ることだと考えています。私達人間は環境の中で生きており、環境を守るとは自分達を守ることでもあります。私達が生活していくうえで、エコは重要であると自分は考え行っています。

― 楽しくエコをしているけど、その秘訣は？

こめっち がんばのメンバーは環境に興味を持っている人ばかりなので、皆意欲的に参加しています。積極的に行動する事が楽しくしている秘訣だと思います。

いつけ ボランティア活動をして、そこで出会った子供達が楽しんでくれたら自分も楽しいし、共にボランティアをしながら皆が楽しく環境について学べるというのが楽しいです。



― 色々な活動を通して変わったエコに対する取り組みは？

こめっち 自分の些細な行動を見直す様になりました。信号待ちでのアイドリングストップや、水の出っぱなし、ごみの分別等、色々気を使う様になりました。身近なところから始めて、少しでも環境を守る事ができるんだなって感じる様になりました。

いつけ 環境問題の事について学ぶにつれ、今まで「エコだ！」

とか、「エコじゃない！」と考えていたものが、見方によっては逆転するという事が解ってきました。例えば、割り箸を使用することは、一般的にはエコでは無いのですが、日本の林業の間伐材を使用して割り箸を作ると、日本の森にとって良い影響を与えることもあります。また、バイオエタノールなんかも、原料を取るための大豆畑を作るために、森を削るという矛盾を抱えています。

ある行動が良い結果になるように私達は考えないといけないと思う様になりました。

― 『がんば』に入った理由は？

こめっち 五月のフラワーフェスティバルの行事でゴミ拾いを体験し、一緒に活動している先輩がとても暖かく迎えてくれたお陰もあり、活動して「いいなあ」って感じたからです。それに、人間環境学部にせっかく入ったので、環境系サークルに入りたいという気持ちもありました。フラワーフェスティバルの行事に参加し、このサークルで何か学べそうと思いい入りました。学ぶ事が一杯です。

いつけ

自分は高校のときに陸上部で、部員達と練習の合宿で山に登った景色が綺麗で、この景色を守りたいと思いました。そこで、誰かが動かないと変わらないんじゃないだろうか？と思いい、環境について学ぼうと思いいました。修道大学の人間環境学部に入り、『がんば』の活動を見て、自分の中にある環境に対する疑問を解決できるのではないかと思いい入りました。



「『がんば』ってどんな事をしてるサークル？」

こめっち 毎月「自然体験学習おくはた分校」という行事が行われています。この行事はおくはた地区の地元の方々や沼田公民館の館長さんが主催しており、私達は親子、沼田公民館、地元の人々との架け橋となるために参加しています。

他には畑で無農薬の農作物を作っています。出来栄があまりよくないので、自分達でカレーに入れておいしく食べています。大学祭での割り箸回収もしています。使用済みの割り箸を王子製紙に送ってリサイクルしてもらっています。

一昨年、「リ・リパック」っていうリサイクル容器を生協とコラボして学生食堂に導入しました。現在、回収率60%となっていますが、満足はしていないので回収率をより高めようとあれこれ模索しています。

毎年恒例のフラワーフェスティバルのごみ拾いボランティアも行っています。僕は今年で三年目なのですが、本当に皆変わってきたなあと感じました。カートを押しして四種分別なんかをしたりするのですが、ごみを自分から進んで捨てて来られる人が増えました。

今年の六月八日の環境の日に広島大会で「紙すき」のブースを出展しました。紙すきとは、牛乳パックを崩して繊維状にしてはがきをすることです。環境の日の大会にも毎年参加しています。

後、「UEnet」という大学環境ネットワークにも参加しています。これは、八丁堀の東急ハンズの隣にある、環境パートナーシップオフィスエコ中国という所で、月に一度会議を開いて県内の大学環境系サークルさん達と行事や活動についての情報交換を行い、輪を広げていこうとする試みです。

十月十二日に、沼田公民館でビックアーチ己斐公園を主体として、体育大会が開かれます。そこで、市立大学の環境サークル『ねっこ』さん等とごみ分別指導をします。その大会では去年までは二種分別しかしてなかったのですが、がんばが四種分別を行っているので、分別指導を頼まりました。

「これからの『がんば』のしたい事は？」

こめっち 修大には三つ食堂があり、今は生協のパーティオでしか導入されていない「リ・リパック」を何らかの形で他の二つの食堂にも導入したいです。修大の近所のごみ拾いなんかもやってみたいです。できれば地元の方々と一緒に楽しみながら。



も一番は、自分達がつともっと楽しみながらエコを広め、活動していきたいというのが本当の展望ですね。

「これからエコを始める人へのメッセージを！」

こめっち まず一番言いたいのは、「エコは硬くない！」です。ほんとに身近なところから取り組めるものなので。最初は楽しくないかもしれませんが、やりだしたらきつと楽しくなると思っています。地球を守ることができることを楽しく長くやっていくと、少しも環境を守る事ができます。つまらないエコは僕らが楽しくします(できたらいいなあ)。色々な取り組みをして是非、何かを感じてください。そして沢山疑問を感じてください。とにかくエコを好きになって欲しいです。

Q. あなたにとってエコってな〜に？



いっけ



こめっち



誰かのための、  
エコじゃない。

わたしのための、  
エコ。

あなたの一歩で  
地球が変わる。





さあ繋げよう、  
エコの輪を。

さあ造ろう、  
未来の笑顔。

